

国立大学法人岡山大学との寄付研究部門の 設置に関する協定書 調印式



岡山大学と鏡野町による寄付研究部門の設置に関する協定書の調印式が2月1日(水)、岡山大学で行われ、岡山大学の森田潔学長、山崎町長が協定書に署名しました。

岡山大学に於いて、4月1日より鹿田キャンパス内に「岡山大学中性子医療研究センター」が開設されます。

これは、岡山大学が積み重ねてきた基礎研究を基盤として、現在、国際原子力機関(IAEA A)との間で締結されている、最新のがん治療法であるホウ素中性子捕捉療法(BNCT)に関する協定を踏まえて、近い将来の臨床応用を目指した中性

子医療研究を加速させることを目的としたセンターです。

本協定は、鏡野町が同センターの取組をサポートするためのものであり、将来的には、鏡野町に新たに設置しようと考えている中性子医療関連研究拠点において、医学と薬学と素粒子物理学の最先端技術を融合した医療人材育成と研究を行う環境を整えていくことを目的としています。

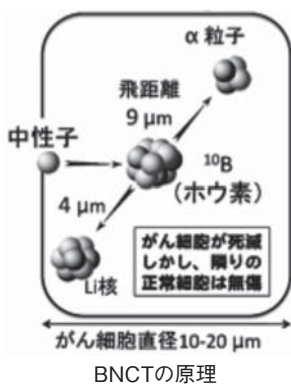
本町からは、寄付研究部門設置に必要な経費を5年間にわたり寄付する予定ですが、岡山大学としても、研究を主体とした寄付研究部門の受け入れは初めてとなります。

ホウ素中性子捕捉療法

(Boron Neutron Capture Therapy: BNCT)：ホウ素同位体 ^{10}B は中性子との核反応によって α 線と ^7Li 粒子を発生します。これらの粒子放射線は飛距離が $4\sim 9\mu\text{m}$ ($1\mu\text{m}\parallel 10^{-6}\text{m}$)で細胞一個の大きさより小さいので、がん細胞に ^{10}B が導入され

ていれば、これら粒子線のエネルギーでがん細胞のDNAを切断し、殺傷することができます。BNCTは1回の照射でがん細胞のみ殺傷し、隣の正常細胞は損傷しません。

近年、がん組織に選択的に取り込まれるホウ素化合物が開発されたことでBNCTの有効性が高まり、悪性の脳腫瘍と皮膚がんはこの治療法が行われてきました。なお、原子炉由来の熱中性子を利用する方法と、加速器で陽子を加速してターゲット(^7Li または ^9Be)に当て発生する熱外中性子を利用する方法があります。現在は、病院設置が可能な加速器型BNCTに開発の重点は移っています。



第2回鏡野町少年少女ソフトバレーボール交歓大会

開催日…平成28年12月18日(日)
場所…文化スポーツセンター

○高学年の部

優勝 奥津A
準優勝 鶴喜A
第3位 富A

○中学年の部

優勝 奥津B
準優勝 香南B
第3位 鶴喜B

○低学年の部

優勝 香南D
準優勝 鶴喜C
第3位 大野D



高学年の部



中学年の部



低学年の部

鏡野町ゲートボール協会 初打大会

開催日…平成29年1月12日(木)
場所…鏡野ドーム

優勝 馬場チーム
準優勝 土居チーム
第3位 越畑チーム
敢闘賞 下田チーム

記録Box